

交流スペース「生き活きの家」

伊豆山に
12日開設

地域社会雇用創造事業の支援受け



12日にオープンする「生き活きの家」を紹介する中田さん＝伊豆山

熱海市伊豆山に12日、交流スペース「生き活き(いきいき)の家」がオープンする。内閣府の地域社会雇用創造事業の支援を受けた「感動・街づくりの会」(中田秀行代表)が運営する。中田さんは「一人暮らしの高齢者や子育て世代など、居場所を求めている人たちが集い、触れ合うことのできるスペース。気軽に利用してほしい」と呼び掛けている。

建築事務所を経営するのグループホームのよう。援する地域社会雇用創造中田さんは以前から、高な施設を作りたい」と涙 事業のこを知った。昨 齢者福祉に関心があった。然とした思いを抱いてい 年夏から半年間、同事業 という。「高齢者のため た時、起業を志す人を支 実施事業者のNPO法人

世代を超えた集いの場

熱海新聞

熱海新聞
熱海市上宿町11-4
〒413-0018
電話0557(81)0648
電話0557(81)2134
FAX0557(83)3553

伊豆新聞本社
〒414-0054
伊東市鎌田1290-6
電話0557(36)1234

ホームページ
<http://www.izu-np.co.jp/>

歯科・口腔外科・矯正歯科
ジョージ歯科
熱海駅前第一ビル9F(土海側)
0557(83)6480
日本矯正歯科学会認定指導医
難治症科 咬み合わせ専門医
自由診療専門
www.g-tatenno.com

きる。手芸や俳句、川柳などの講座も開設する。いずれ一買い物お手伝いサービスを行うことも計画している。

高齢者に限らず、多くの世代に利用してほしいというのが願いだという。「子連れで来れば、お年寄りが子どもを遊ばせてくれる。子育て中のお母さんが、お年寄りからいろいろ教えてもらえる。お年寄りだって孫のような子ども世話をするのは楽しいと思う。ほ防止にもなる」と中田さんは理想を語った。

生き活きの家の営業時間は午前10時から午後4時半(木曜日定休)。中田さんと2人の女性スタッフが運営にあたる。入会金は個人5000円、食料は個人1万円(た法人・団体等1万円)を自由に使うことがで

空き店舗をカフェに

獨協大 熱海の活性化策提案

「熱海の活性化」をテーマに熱海市で2泊3日のゼミ合宿に臨んだ獨協大学「高松ゼミ」の学生が9日、渚町の熱海玉の湯ホテルでシンポジウムを開き、活動成果を発表した。市内の観光関係者や市民を前に、学生の代表2人が「学生の視点から見た熱海の地域活性化」をテーマに発表した。

発表したのは経済学部2年生の中嶋達さん、山本和樹さん。2人は「熱海

「熱海の活性化」をテーマに熱海市で2泊3日のゼミ合宿に臨んだ獨協大学「高松ゼミ」の学生が9日、渚町の熱海玉の湯ホテルでシンポジウムを開き、活動成果を発表した。市内の観光関係者や市民を前に、学生の代表2人が「学生の視点から見た熱海の地域活性化」をテーマに発表した。

発表したのは経済学部2年生の中嶋達さん、山本和樹さん。2人は「熱海



市内の観光関係者や市民を前に、合宿の学生＝熱海玉の湯ホテル

地酒とワインとこだわり食品
「宮のしずく」販売元
近江屋
〒413 0015 熱海市中央町1-7(市役所前)
☎0557(82)5252

発表後、パネルディスカッションも行われた。参加した緒逸志・内閣府審議官は「廃墟の利用」「コミュニティカフェ」の設置など提案について、「目の付け所として正しいのではないかと

「熱海の活性化」をテーマに熱海市で2泊3日のゼミ合宿に臨んだ獨協大学「高松ゼミ」の学生が9日、渚町の熱海玉の湯ホテルでシンポジウムを開き、活動成果を発表した。市内の観光関係者や市民を前に、学生の代表2人が「学生の視点から見た熱海の地域活性化」をテーマに発表した。

発表したのは経済学部2年生の中嶋達さん、山本和樹さん。2人は「熱海

伊豆の天気

旧2月7日	日出 6:01	日入 17:47	月出 9:03	月入 23:45	月齢 6.3
高潮	7:19	21:03	伊豆		
干潮	1:23	14:22	東		
高潮	7:58	21:40	石廊		
干潮	2:03	15:02	崎		
高潮	8:08	21:36	内		
干潮	2:13	15:02	浦		

きのうの気温
網代 石廊崎 三島
最高 13.6 10.7 13.3
最低 3.5 7.0 0.1

熱海市田原本町9-1 第1ビル3F
渡辺耳鼻咽喉科クリニック
TEL0557-81-6396